

氏名	木村 諭志	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	精神看護学				
学位	修士（看護学）				
学歴	2006年 京都保健衛生専門学校 看護学科三年課程 2017年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 2021年 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 博士前期課程				
経歴	2022年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 助教				
所属学会（役職）	日本精神保健看護学会、日本看護科学学会、ウェルビーイング学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	メンタルヘルスマガジン こころの元気+ 第16巻 第7号（通巻185号）	共著	なし	認定NPO法人地域精神保健福祉機構・コンボ、P64	横山恵子、蔭山正子、木村諭志他	2022.7
2	精神医学 第64巻 第9号（通巻765号）	共著	なし	医学書院、P117	福田正人、鈴木道雄、木村諭志他	2022.9
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	精神科病院における患者マスク着用に対する看護師の思いの分析	共同		第60回全国自治体病院学会、那覇市	○木内博愛、飯田菜、木村諭志、濱田晴美	2022.11
2	看護師を対象とした「感謝の介入」の文献検討	共同		第42回日本看護科学学会学術集会、広島市（ハイブリッド開催）	○秋山美紀、吉野優香、鈴木康美、森田牧子、江口のぞみ、北島裕子、小川千恵子、木村諭志	2022.12
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	精神看護学Ⅰ		1	精神障害者家族の特徴や思い、家族システム、家族療法、家族をサポートする社会資源等について、学生がもつ家族観についても振り返りながら講義した。家族の思いについては、親の立場からの語りの映像を活用し、学生の理解が深まるよう配慮した。		
2	精神看護学Ⅱ		1	前半は、ケアプラン作成に必要な精神看護学領域の理論や記録用紙について講義した。後半は、模擬事例について説明し、ケアプラン作成の個人ワークの時間とした。個人ワークの段階で生じた学生からの質問については、その場で応じられるように授業を展開した。		
3	メンタルヘルス論		1	ヤングケアラーの現状やメンタルヘルスに及ぼす影響、支援の課題について講義した。ヤングケアラー体験者の映像資料を活用しながら、教員自身がヤングケアラーだった体験談も交えて説明した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	精神看護学Ⅱ		8	再構成は、ロールプレイを取り入れ、対人関係における自身の傾向や他者との相違に気づけるよう指導した。ケアプランは、個人のプランをもとにグループワークを行い、精神的のみならず、身体的、社会的側面について、退院後の生活を見据えたプランが立案できるように指導した。		

(3) 実習				
実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1 総合実習		2022.7	これまでの実習を通して学生が見出した精神看護学領域に関する自己課題について振り返り、積極的に目標が達成できるよう実習指導者と調整を行いながら指導した。	
2 IPW実習		2022.10	学生らの自主性を尊重して見守り、支援の方向性が定まらず留まっていた際には、共通する目標に気付けるよう発問し、相互理解を深めながらチームビルディングができるよう支援した。	
3 精神看護学実習		2022.11~2022.12	病棟、地域、学内実習を織り交ぜ、精神疾患を有する患者・家族の背景や思い、患者の安全と倫理的観点、ストレングスや地域で生活する視点について体験的に学べるよう実習指導者とも連携しながら指導した。	
(4) 論文指導				
対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1 卒業論文	2022.4~2023.3	主指導	0名	副指導 4名
(5) その他				
名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1 該当なし				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1 埼玉県立大学「市民公開講座」	埼玉県立大学	精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク		2022.11
2 市精連「家族支援研修」	市精連	家族が抱きやすい感情や立場による思いの違いについて		2023.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1 一般社団法人 日本きょうだい福祉協会（団体設立準備室）	普及啓発事業部、調査研究事業部		2022.11~2023.3	
(3) ジャーナリズムでの発言				
メディア等の名称	内容			年月
1 該当なし				
(4) その他				
項目	相手方等	内容		期間
1 地域貢献活動	NPO法人 さいたまマック	第16回ステップセミナー ボランティアスタッフ		2023.2
5. 学内運営				
項目	内容			期間
1 学科等における委員会等	入試実施部会補佐：オープンキャンパス運営、大学見学（高校生団体）対応等			2022.5~現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
受賞名	主催		受賞年月	
1 該当なし				
7. 特許の取得				
特許名	特許番号		登録年月	
1 該当なし				
8. 特記事項				
1 該当なし				